

1 対象

教職員（研修での使用を想定）

2 ねらい

今、日本では、友達が「あたり前」と思っていることができず、つらい思いをしている子どもたちがいるという現実がある。身の回りで「できてあたり前」「やってあたり前」と思われることが、必ずしも「あたり前」ではないことに気づき、思いやりや配慮のある行動ができるようにする。

3 準備するもの

○ワークシート

4 解説

自分が「あたり前」と思っていることを、すべての人が同じように「あたり前」と感じているとは限らない。常にそのことに思いを巡らせ、特定の視点・価値観を他者に押し付けてしまわないような言動が取れるようにしたい。

厚生労働省の調査（平成28年度）によれば、日本の子どもの貧困率は13.9%（およそ7人に1人が貧困）と、先進国の中でも最悪の水準と言われている。ここで言う貧困とは、人間として最低限の生存を維持することが困難である「絶対的貧困」ではなく、その国の文化水準・生活水準と比較して困窮した状態である「相対的貧困」を意味している。つまり、衣食住は整っているものの、友達が「あたり前」と思っていることができずにつらい思いをしている子どもたちがたくさんいるということである。

「子どもの貧困」は、それに該当する子どもたちが教室にいる可能性も高く、授業として扱いにくいテーマだが、教職員として理解しておくべき重要なテーマでもある。そこで、本ワークは「教職員向け」として作成した。子どもたちの何気ないやりとりをとおして、貧困状態にある子どもたちを気遣い、もし自分がそのような子どもたちの担任だったら、どのような配慮が必要なのか、どのような指導や支援ができるのかについて考えていくことをねらいとしている。

5 進め方（展開例） 50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（8分）</p> <p>「好きな調味料は？」</p> <p>①司会が、ひとつ食品を示す。</p> <p>②その食品を食べるときの調味料を個人で考える。</p> <p>③掛け声に合わせて、全員で同時に言い合う。</p> <p>④食品を変えて、①から繰り返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4人程度のグループで行う。 調味料に複数の選択肢があり得る食品を示す（例：目玉焼き、フライドポテト、ソーセージなど）。 	
<p>・自分が「あたり前」と感じることは、人によって異なっている。</p>			

<p>展開 30分</p>	<p>◆アクティビティ（30分） 「『あたり前』は、あたり前？」</p> <p>【場面1】（AとBの会話）</p> <p>①司会と発表者を決める。</p> <p>②グループで向かい合って、ワークシート【場面1】の内容を読む。続いて、【設問1】及び【設問2】について、各自、考えをまとめる。</p> <p>③グループで意見を出し合う。</p> <p>④グループの発表者がグループで出た意見を発表し、全体で共有する。</p> <p>【場面2】（CとDの会話）</p> <p>①司会と発表者を決める。</p> <p>②グループで向かい合って、ワークシート【場面2】の内容を読む。続いて、【設問3】及び【設問4】について、各自、考えをまとめる。</p> <p>③グループで意見を出し合う。</p> <p>④グループの発表者がグループで出た意見を発表し、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配付する。 ・他人と同じことができない児童・生徒がいて、つらい思いをしていることに気づかせる。 ・何ができるのか、どのような言葉かけができるのか考え、それを互いに共有することでよりよい対応ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ワークシート
<p>まとめ 10分</p>	<p>◆まとめ（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修をとおして参加者から出された感想や意見をもとに、ねらいを押さえまとめる。 	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省の調査（平成28年）によれば、日本の子どもの貧困率は13.9%（およそ7人に1人が貧困）と、先進国の中でも最悪の水準と言われている。 ・日本においては、絶対的貧困より、相対的貧困（周りと同じことができない）が問題であり、当該児童・生徒は日常の友達との何気ないやり取りの中で、つらい思いを感じていることがあるということを理解しておく必要がある。 ・現実的に、ワークシートの登場人物のような境遇にいる児童・生徒に対して（あるいは、その周囲に対して）、適切に指導しなければならないことも想定しておく必要がある。 </div>

<参考資料など>

「平成28年 国民生活基礎調査」 厚生労働省ホームページ（平成29年6月）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/>

「あたり前」は、あたり前？

次の会話文を読み、設問について考えてみてください。

【場面1】 休み時間、教室にてー

A：ねえねえ、今度の土曜日に、みんなで一緒に〇〇モールに行くって話になってるんだけど、Bもどう？

B：んー、①私あんまり〇〇モールって興味ないんだよねー。人混みにウンザリっていうか……。

A：でもさ、買い物したり、映画見たり、みんなで行けば楽しいって！

B：きっとそうだよな。

A：ほうら、たまには一緒に行こうよ。

B：まあね。でも、ごめん、私はパス。②その日は親が留守でさ。妹の面倒見なきゃいけないし。

A：そっか。大変だね。じゃあ、お土産買ってきてあげるね！

B：うん、ありがとう。楽しんで来て！

【設問1】

会話のやりとりから、Bさんは①、②のように様々な理由をつけて、あまり一緒に遊ぶことがないようです。なぜBさんは誘いを断るのでしょうか。Bさんには、どのような事情があると考えられますか。

【設問2】

Bさんが浮かない顔をしているので学級担任であるあなたがそっと呼んで話を聞いたところ、Bさんは、本当の理由は語りませんでした。ぽつりと「本当は私だって行きたいんだ」と言いました。あなたは、この後どのような対応をしたらよいと思いますか。

【場面2】 野球部の練習が終わった後一

C：お前、グローブ新調した？

D：実は、昨日誕生日でさ。プレゼントにもらったんだ。

C：①へえ、よかったじゃん。新品の革のにおいがする。

D：Cってさ、グローブ②めちゃくちゃ使い込んでるよね。

C：そうなんだ。これはお父さんが使っていたのをもらったから。

D：だからか。③結構古そうだなと思っていたんだ。

C：まあね。道具は大事にしないと。メジャーリーガーも「野球がうまくなりたかったら、道具を大事にしろ」って言うてるしね。

D：なるほどー、さすがチームのエース。言うことが、深い！

【設問3】

①の表現から、Cさんは新しい道具を買ってもらったDさんをうらやましく思っているように感じられます。また、②、③から、Cさんは現在、古い道具を使用していることがわかります。Cさんには、どのような事情があると考えられますか。

【設問4】

チームで新しいウィンドブレーカーを作ることになり購入のための希望票を配付した翌週、顧問であるあなたに、Cさんが部活動を辞めると言ってきました。Cさんは話を聞いても、はっきりとした理由を言いません。でも最後に「本当は野球は続けたい」と言いました。どのような対応をしたらよいと思いますか。